



～キリスト教精神にもとづき、子どもたちの未来と地域福祉の向上に努めています～

総理・厚労大臣 二葉南元保育園視察・車座懇談

～ 保育士等の処遇改善に向けて ～

晩秋の晴れ空の下、昨年11月25日(木)、岸田文雄総理大臣と後藤茂之厚生労働大臣が二葉南元保育園の視察に来訪され、視察に続き同園ホールで現場の保育士らとの「車座懇談」が当初予定30分のところ40分近くにわたって行われました。

これまででも、当法人では南元保育園だけでなく二葉乳児院や二葉学園も総理大臣や厚生労働大臣が視察されたことがあります。総理・厚労大臣揃っての視察、懇談はともに初めてのことで、貴重な機会となりました。(車座懇談での発言内容はいずれも概要を掲載しています)

二葉南元保育園視察

予定の10時半より少し早めに到着された岸田総理大臣と後藤厚労大臣の一行は、町田園長の案内、高橋主任の案内補佐で視察スタート。感染防止のため、園の1階から2階の保育室や調理室など、足早な視察となりました。

途中、5歳児クラスでは、カブラ(フランスの教育



玩具)を使って遊ぶ園児とのほほえましい交流風景もありました。

車座懇談 首相挨拶

園内視察に続き、3階ホールで行われた車座懇談には、保育士3名、看護師・栄養士各1名、園長、理事長が参加しました。





大勢の報道陣の取材も入り、参加者は緊張気味の中、冒頭、岸田総理大臣から次のような御挨拶がありました。
岸田総理：今、この施設の中、見させていただきました。ゆったりとしたスペースがあり、子ども達も本当に生き生きと活動している姿を拝見して元気をもたらしたような気がします。本当に皆さんコロナの感染にも心を砕きながら一生懸命支えておられることについて心から敬意を表し申し上げたいと思います。

保育のお仕事、子ども達の健やかな未来を考える上で、働く親御さんを支えるという意味で、大変重要だと思います。ぜひ、政治の立場からはこうした皆さんが生き生きと活躍できる環境を作っていかなければいけない。その一歩として、保育士の皆さんの給与を来年2月から、3%程度、月9千円の継続的な引上げを行おうということを確認して、取組を進めていることです。

それ以外でも現場で働いている皆さんが、ああしてもらったらもっといいのになとか、政治にはこういったことを考えてもらえないだろうか、いろんな思いを持っておられると思います。いろいろ聞かせていただいて参考にさせていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

車座懇談 園の概要説明

懇談開始にあたり井上理事長から園の概要説明を行いました。

(当日の様子(理事長説明全体を含む)を収めた官邸ムービーを御覧ください。

https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/actions/202111/25shisatsu.html)

車座懇談 保育士の仕事を巡って

続いて、後藤大臣の司会・進行で懇談が行われました。
後藤大臣：最初に、園でのいろいろなお仕事の中で、ど

のような助けがあればいいな、ありがたいと思われるかを聞かせてください。

高橋保育士：まずは保育士の確保が挙げられるかと思えます。子ども達の保育をしながら多くの業務をこなすことは、時間がなかなか取れないのが実情です。休憩時間とか有給休暇の確保を考えると、現場の人手不足は深刻です。余裕を持った保育士の配置があれば緩和できるかと思いますが、人がいればいいというわけではなく、子ども達の安心・安全、保育の質の確保のために資格を持った保育士の配置を望みます。

とてもやりがいがあって魅力のある仕事ですので、子ども達の命の重さ、責任の重さ、仕事量の多さに見合う給料を支払われることで、この仕事に就きたいと感じる人や、働き続けたいと感じる人も増えるのではないかと思います。

浦澤保育士：私はここの保育園の30年ほど前の卒園児です。当時、運動会とかクリスマス会ってすごく楽しくて、記憶に残っています。ただ、職員になった今、準備とかすごく大変だったんだなというのを実感しています。子ども達に楽しい思い出を作ってもらおうというのは、保育士の陰での計画とか配慮が大切になっています。年間・月・週のカリキュラムをしっかり立てていて、日誌を付けたりとか、個別の書類も山ほどあります。この大変さを皆様にも理解していただきたいと切に思います。

後藤大臣：次に、保育園で働いてみようと思ったきっかけ、保育という仕事のやりがいとか、魅力について、新人の方お願いいたします。

篠保育士：私の家が養育家庭で両親の養育に対する思いがとても熱く、その姿を間近で見ていて児童福祉に興味を持ったことがきっかけです。就職前は、専門学





校に通いながら保育園でアルバイトをし、保育補助として子ども達と関わり、保育の先生方の姿を見て、保育現場で働きたいという気持ちが強くなりました。

現在、0歳児の担任をしています。毎日、子ども達の成長を間近で見ることができます。ついこの間、歩き始めたばかりの女兒が私の方に向かって笑顔で両手を広げ歩いてきてムギュっとしてくれました。そんな時には日頃の大変さが報われます。

車座懇談 子育て支援を巡って

後藤大臣：子育てされているお父さん、お母さんの立場でどのような子育て支援があるといいと思われるか、聞かせていただけますか。

高橋保育士：私が実際に子育て中に感じたことは、自分の時間がなかなか取れずに、気分転換が難しかったことです。2人目の時に初めて一時保育の存在を知りました。当時は一時保育をやっている保育園がとても少なかったのと、倍率が高かったので預けることができなかったのですが、産後のお母さんも美容院にだっで行きたいし、買い物にもゆっくり行きたいと思うのです。また、一時保育を利用することで同じような年齢のお子さんと我が子が遊ぶ姿を見るというのはとても新鮮で嬉しいことかと思えます。

昨年度まで一時保育の担当をしていましたが、利用されるお母さんの子育ての相談なども多かったです。小さい子どもと24時間向き合うことは時には辛くなることもあって、そんな時に一時保育を利用して、少しでも子どもと離れてリフレッシュすることで虐待を防ぐことにも繋がるのではないかと思います。一時保育の存在を知らない方はまだまだ多いです。こういった子育て支援の場に顔を出さない方こそが支援が必要だったりしますので、もっと認知度が上がって利用しやすくなるといいと思います。

浦澤保育士：先日、次男が生まれて、今は二児の父で

す。私が保育士専門学校に通い始めた時、担任の先生からの第一声がまず男子は保育士になっても一人の収入では家族は養えませんとズバツと言われ、とても衝撃的でした。私は今、中堅保育士として働きながら子育てしていますが、やはり自分の給料だけでは生活が難しく共働きせざるを得ません。家族を持つ保育士も長く働けるために9千円とは言わずに9万円くらい上がらないかなと心の中では思っています。

車座懇談 看護師・栄養士の仕事を巡って

後藤大臣：保育現場における看護師や栄養士の役割、保育士さん達とどのような役割を分担しておられるのか、お聞かせください。

長谷川看護師：保育現場の看護師は、園児と職員、保護者の健康を守ることが役割と感じています。保育中のけがや体調不良の対応だけではなく、園児の健診の補助、その結果を保護者への伝達、園内の衛生管理や感染症予防に関する保健指導も行っていますが、特に子ども特有の感染症に関しては園内だけでなく地域の流行状況も踏まえて保護者の方に注意喚起を行っています。園児には持病やアレルギーを持ったお子さんも少なくないです。命を預かる仕事ですので、担任とはこまめに情報共有をして、お子さんのその日の体調に気を配り、小さな変化を見落とさないようにしています。食べ物のアレルギーに関する栄養士との連携だけでなく、保育士、臨床心理士とも連携・情報共有しています。

保育園の看護師はすごく必要だと思うんですが、実際、全ての保育園に一人、常駐しているわけではなく、複数の保育園を掛け持ちしている看護師もいます。全ての園に看護師が常駐できればいいと思います。

コロナの1回目の緊急事態宣言の時、保育所は原則開所を求められていましたが、保育所で働く私達はワクチン接種が一般市民と一緒にだったんですね。私達も通勤をしたり、家族がいますので、感染の心配もすこ



く大きくありました。職場環境や社会的な地位というところで保育所の職員に対して考えが高まると思います。

菊地栄養士：食に関わること全般を担当しています。子どもの体と心の成長に大切な、質の良い食事の提供を心がけています。生後数週間の赤ちゃんのミルクや母乳を扱ったり、小さいお子さんの食事を作りますので常に食中毒や感染症など、衛生面に気を配って作業を行っています。子ども達が食事を楽しむことやマナーなどに関する食育活動、あと子どもと保護者への働きかけは、保育士・看護師と連携して行っています。多様なアレルギー対応があったり、外国の方の食習慣に対応したり、保護者支援など専門的な知識が必要な場面が多くあります。また短時間で安全に食事を作ることは、集中力と体力のいることです。私達の専門性や命を預かる責任の重さ、子育て支援の役割などを知ってもらい、安心して長く働けるように処遇改善を希望します。

車座懇談 総理からの直接の質問

続いて総理からの直接の質問がありました。

岸田総理：保護者とのコミュニケーションで工夫していることとか、教えてもらえますか。

高橋保育士：コロナのことがあり、コミュニケーションを取りたくてもなかなか取れないという現実がありました。連絡帳を使って保護者の方とのコミュニケーションとか、とても大事なことだと思います。今日こんなことができるようになりましたよ、こんなにかわいい姿がありましたよってこちらからお話することで、だんだん保護者も打ち解けてくださいます。

岸田総理：ワクチン接種が一般の方と一緒にだったと、それが社会的地位の現れだというお話がありました。それ以外にももう少ししっかり評価してもらいたいと

ころはありますか。

長谷川看護師：看護師というと病院で働いているイメージが強いと思うんです。保育園でも看護師さんっているんだなって思われることも少なくないです。私自身、病院から転職した際、保育園で看護師するのという言い方もされました。

車座懇談 終わりに

報道陣退席後、園運営や保育人材確保について後藤大臣から質問があり、町田園長から働き方改革を進めているものの人手不足が続く現場の実情を伝えつつ、子どもの安全・安心や保育の質向上のため保育士配置増や事務職の常勤配置など基準の充実が望まれる点などについて答えました。

理事長はまとめの一言を求められ、保育所が地域子育て支援拠点として今日的課題に対応していく上で、保育士に加え看護師・栄養士・臨床心理士・社会福祉士など多職種連携の体制が望まれることを御礼とともに述べました。

最後に岸田総理からの御礼の御挨拶の後、5歳児が見送る中、岸田総理・後藤大臣は園を後にされました。

終了後、5歳児クラスの子供達は、園庭で警備に来園したSPの方達を囲んで、カッコいい！と大はしゃぎ。楽しいひと時を過ごしました。

昨年12月には、当日、総理から言及があった処遇改善を盛り込んだ補正予算が成立し、保育士や介護士など福祉分野、看護師など医療分野のエッセンシャルワーカーの処遇改善が図られることになりました。

当法人では手当される公費全額を現場に還元し、処遇改善に最大限活用していきます。

社会福祉法人二葉保育園理事長
井上 従子 様

令和三年十二月
内閣総理大臣

岸田文雄

拝啓 向寒の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
井上理事長におかれましては、日頃より、ごどもたちの保育に御尽力いただき、深く敬意を表しますとともに、新型コロナウイルスへの感染予防に心を砕きながら、保育を続けていただいていることに改めて感謝申し上げます。
先日は、大変御多忙の折にもかかわらず、貴園の視察や車座での意見交換に御対応いただきまして、誠にありがとうございました。
車座での意見交換では、ごどもたちの命の重さ、責任の重さ、仕事量の多さに見合う処遇・待遇が必要とお伺いしました。質の高い保育を提供していくため、保育現場で働く方々が、不安なく、生き生きと働いていただくこと、それを社会全体で応援していくことが重要です。来年二月からの給与の三%程度、月九千円の引き上げを第一歩として、今後とも、保育現場をより魅力ある職場にしていきたいと考えております。
さらに、一時保育などの充実や、多職種連携による保育園の機能強化など、いただいたご意見も踏まえ、子育て支援のより一層の充実を図ってまいります。
ごどもたちの置かれている環境が大きく変化していく中で、今後とも、現場の皆様の声を丁寧に聞きながら、政策に反映してまいりたいと考えております。
この度は本当にありがとうございます。

敬具



ハイブリッド新年会&表彰式



年明け早々からオミクロン株による感染の急拡大が進んできたため、1月15日、恒例の法人新年会と永年勤続等の表彰は、当初の予定を変更し、各拠点をオンラインで繋いで実施しました。

徳永恕賞を三浦淳子さんに

今年度は「法人内異動して現在も活躍中の職員」として、管理者会の推薦に基づき、3年振りに同賞を実施しました。三浦さんは1991年から二葉乳児院に勤務、主任を務めた後、2016年、自立援助ホームトリノス立上げに自ら加わり、運営を軌道に乗せる上で多大な貢献をされました。その後、乳児院に戻り、途中、闘病生活を経て、新生児委託事業に力を発揮されています。「三浦さんの一番尊敬できるところは、子どもの未来が明るいものになることを信じていることであり、信念をもって前向きな姿勢で仕事に向きあっておられるところです。」など、法人内の多くの施設長の推薦がありました。



徳永恕賞の授与



永年勤続表彰26名に

続いて、勤続10年9名、15年8名、25年4名、30年3名、35年2名、計26名の表彰後、一人一言ずつ挨拶を頂きました。

その一人の都留乳児院長から「ソウェルクラブの永年勤続表彰は30年までですが、二葉は30年を超えても表彰されます」とありましたように、これまでも今後も職員の皆さんが長く働き続けられることに感謝と敬意を持ち続ける法人でありたいとの願いを込めた表彰式でした。

各施設長の新年の抱負など

紙面の関係上、詳細は割愛しますが、6人の施設長からの新年の抱負(理事長や常務理事の挨拶なども)は、いずれもコロナ問題のプレッシャーを感じさせない前向きな内容でした。

ハイブリッド方式での実施でも、十分な熱量が伝わり、新年にあたっての心意気を共有できたこと、更に、スライドショーを通じて、子ども達とその家庭への支援に力を尽くしている法人内の仲間達との一体感を確認できたことは、大きな成果だったと言えます。

ただ、やはり、コロナが終息して来年はリアルで実施できることを願わずにはいられません。まずは、今年一年、元気に仕事ができますよう！

二葉の職場・現場紹介 スライドショー

新趣向として、法人内の各施設・職場を紹介するスライドショーを上映しました。コロナで交流が難しく、お互いの現場や顔を直接知る機会が得づらい日々が続いている中、笑顔が溢れる写真や懸命に仕事に取り組む姿が収められている写真に共感・共鳴を感じた約10分でした。

年末からの急ごしらえにもかかわらず芸術的香りの高い出来栄に、担当の若手職員のスキルとセンスに驚嘆。上映後、暫し余韻に浸りました。



上映されたスライドの一部



「二葉支援の会」への寄付のお願い

二葉保育園では、「二葉支援の会」が中心となって、法人内の各施設の事業や組織運営を支えていく活動を行っています。ご寄付は、年一口5,000円以上をお願いしておりますが、金額は問わず、一人でも多くの方にご支援を頂きたいと思っております。ご入会・ご支援頂ける方はぜひ当法人本部までご連絡ください。

★当法人へのご寄付は社会福祉事業への寄付として確定申告をして頂くと税制上の優遇措置(寄付金控除)が受けられます。詳しくは当法人本部までお問い合わせ下さい。

「二葉支援の会」お問い合わせ

社会福祉法人二葉保育園 法人本部

電話 **03-3341-1205** (平日10時~17時)

E-mail **info@futaba-yuka.or.jp**

郵便振替

□座番号：00120-2-30321
□座名義：社会福祉法人二葉保育園

銀行振込

三菱UFJ銀行 支店名：四谷支店
□座番号：普通0506208
□座名義：(福祉)二葉保育園 理事長 井上従子

クレジットカード

社会福祉法人二葉保育園ホームページの「寄付のお願い」ページからお手続き頂けます。



社会福祉法人 二葉保育園 概要

法人本部

所在地：〒160-0012 東京都新宿区南元町4番地
設立：1900年(明治33年)
理事長：井上 従子
常務理事：武藤 素明
理事：河津 英彦、押切 重洋、福田 敏朗、都留 和光、町田 とし江
評議員：宮沢 成実、磯谷 文明、吉村 晴美、金子 恵美、潮谷 恵美、貫名 通生、浦上 充、竹内 よし子、橋本 ゆかり
監事：園 武友、馬場 充
職員：4名

二葉乳児院・地域子育て支援センター二葉

院長 都留 和光
児童定員：40名 職員：114名
所在地：〒160-0012 東京都新宿区南元町4番地

二葉学園

統括園長：武藤 素明 園長：小倉 要
児童定員：52名(グループホーム8ヶ所を含む)
職員：84名
所在地：本園 〒182-0035
東京都調布市上石原2-17-7

二葉南元保育園

園長：町田 とし江
児童定員：110名 専門型一時保育：10名 職員：52名
所在地：本園 〒160-0012 東京都新宿区南元町4番地

二葉くすのき保育園

園長：森本 裕美
児童定員：100名 職員：39名
所在地：〒182-0022
東京都調布市国領町3-8-15 都営くすのきアパート1号棟

二葉むさしが丘学園

統括園長：武藤 素明 園長：菅原 淳史
児童定員 本園：60名(一時保護6名を含む)
グループホーム：18名、職員：65名
ファミリーホーム：6名、職員：2名
所在地：本園：〒187-0011 東京都小平市鈴木町1-62-1

自立援助ホーム トリノス

ホーム長：渡辺 剛史
児童定員(男子)：6名 職員：4名
所在地：東京都日野市
(成人を含む利用者の住所地となっているため非公開)

二葉とこども32号 2022年 2月15日発行 編集・発行 社会福祉法人 二葉保育園「二葉支援の会」
〒160-0012 東京都新宿区南元町4番地 TEL：03-3341-1205 法人本部事務局 <http://www.futaba-yuka.or.jp>

